News Release
報道関係者各位

2026年11月18日

初年次から欧州を横断、自分たちで計画する旅が学びの出発点に

麗澤大学「ヨーロッパ横断研修」参加学生が麗陵祭で成果を発表

麗澤大学(千葉県柏市/学長:徳永澄憲）の外国語学部ドイツ語・ヨーロッパ文化専攻の学生が、10月31日（土）・11月1日（日）の大学祭「麗陵祭」で、「ヨーロッパ横断研修」の成果を展示しました。自ら計画した旅での体験や調査をポスターと動画にまとめ、現地での発見や自身の変化を紹介しました。

■訪問先も移動方法も、学生自身が計画

本研修は、同専攻の学生が１年次に取り組む必修研修です。海外研修では、少人数のグループでイスタンブールからベルリンまで陸路で各地を巡ります。授業「Workshop Deutsch」で事前調査や旅程計画、役割分担などを行い、体験を通して自らの関心や学びたいことを見いだし、大学４年間の学びにつなげます。

現地では、移動や宿泊の予定変更などにも、メンバーで相談しながら対応します。異文化に触れるだけでなく、予想外の状況で自ら考え、周囲の力も借りながら行動する経験を重ねます。

今年度の海外研修は８月30日（日）～９月12日（土）に実施し、16名が参加。国内研修には11名が参加し、日本国内でヨーロッパの文化や歴史をテーマに調査しました。

■体験を振り返り、映像や言葉で伝える

麗陵祭では、アートや建築、雑貨などを切り口に調査したポスターを展示しました。動画は各班で制作したものをもとに、海外研修・国内研修の参加者から各１名が取りまとめ、それぞれ１本に再編集しました。今年度は春・秋に各１回、株式会社シンクプロジェクトの藤井沙織氏・藤井美晃氏によるワークショップを実施。撮影やナレーション収録、編集を学び、研修成果の発信に生かしました。

■参加学生の声（外国語学部１年次生）

渡辺朱音さん「研修を通して、自分から現地の人に話しかけられるようになりました。自分の言葉が伝わり、笑顔が返ってきたことが自信につながり、留学への思いも具体的になりました。」

黒崎莉穂さん「歴史を伝える建物や展示を自分の目で見て、学びたいことが広がりました。次に訪れる際には、知識と語学力を身につけ、歴史や人々の背景をより深く理解したいです。」







【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和10年、創立者の廣池千九郎（法学博士）が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス（千葉県柏市光ヶ丘）に開塾したことから始まります。「知徳一体」という教育理念のもと、心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指し、教育改革を進めています。

【本件に関するお問合せ先】麗澤大学大学入試・広報課　担当：井上
〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
Email：pr@reitaku-u.ac.jp　TEL：04-7173-3136　FAX：04-7173-3585　大学公式サイト：https://www.reitaku-u.ac.jp/